水と緑

第 42 号
題字　佐田一郎

発行／前橋商工会議所青年部（緑水会）　前橋市日吉町一丁目８番地の１　　編集／青年部総務広報委員会
TEL 027 － 234 － 5111　FAX 027 － 234 － 8031　URL http://www.maebashi-yeg.com

代表幹事今年度の方針

前橋商工会議所青年部
代表幹事　嶋　田　大　和

平成十六年度代表幹事となりました嶋田です。前橋商工会議所青年部（緑水会）に入会して十五年が経ちました。前橋について、行政・経済界・各種団体のつながり・行事等全くの無知といっていい私が、当緑水会に育てていただき、現在にいたりました。数多くの先輩の皆様、各事業でお世話になった皆様、会員の皆様に感謝申し上げるとともに、何よりも緑水会に感謝を申し上げたいと存じます。

これからは、私が緑水会に恩返しの時期と考えております。現在、ここ三・四年での入会員が全体の約四割という構成になっております。この緑水会の魅力、さらには自己形成のために有形無形の財産となることなど、私が伝えられるものは、伝えていきたいと考えております。

会員ひとりひとりが活躍することによって、緑水会のネームバリュー・存在感が高まり、緑水会に入会していることにより、会員が、また企業が信用を得る・発展をする。そのような相乗効果のある関係にしていきたいと考えております。

個人では、一企業ではできないことが経験できる。自己研鑽により青年経済人としての資質を磨く。地域社会に貢献する。自分の企業経営に役立たせる、のはもちろんのこと、現在の社会状況を鑑み、今後は、今年から全国商工会議所青年部連合会でも取り組んでいるように、各企業の事業取引拡大にも、少しは役立つような要素も必要と考えております。

創立以来二十七年の間に、先輩方の努力・活躍により、前橋市の地域活動においてかけがえのない団体に成長してまいりました。これからも、さらに会員一同が高い志を持って、活動していきたいと存じます。皆様のさらなるご支援ご協力をお願い致しまして、今年度の方針とさせていただきます。一年間よろしくお願い致します。

今年度の抱負

副幹事
長　谷　浩　克

昨年、一昨年に引き続き、副幹事の指名をいただきました。嶋田代表幹事のもと自分にとっても緑水会にとっても有意義なものになるよう努力していきたいと考えております。

今年度の緑水会活動もスタートし、既に何度かの例会・委員会・役員会等があり、新しい代表・委員長・理事の皆さんの前向きで積極的な行動がたいへん目立っておりますが、そういった方々を側面からサポートし、活動しやすい環境をつくることを心がけていくことが私の役割だと思います。また、メンバー全員がこの一年を終えたとき、緑水会に入会していてよかった、役に立った、貴重な経験ができたと思えるような年に出来ればと期待しております。そのためにも、会員の皆さんが貪欲に、積極的に、時にはでしゃばりに思えるぐらいに多くのことに参加・行動していただくようお願いいたします。

会員の皆さんにとって、会での活動を充実させるために一番重要なことは、代表幹事や委員長の方針等ではなく、皆さん自身の行動であることを忘れず、皆さん自身でこの一年間を充実したものにしていただきたいと思います。

今年度の抱負

副幹事
石井繁紀

本年度、二年目の副幹事を仰せつかりました。事業推進委員会と総務広報委員会を担当させて頂きます。

昨年は一年目ということもあり、目標として掲げた委員会活動のサポート、広い視野での会の運営など、決して満足のゆくものではなかったと思っています。再度、嶋田代表幹事よりこのような大役を仰せつかったことに対して、感謝すると同時に、責任の重さを自覚し、昨年の反省をふまえて、今年度はより一層、副幹事のもつべき役割を果たせるよう、精一杯努めてゆきたいと考えています。

社会情勢、環境の変化とともに、緑水会自体の果たすべき役割も、また、会員の望むことも確実に変わってきていると捉えています。原点や基本に立ち返り、歴史を継承しつつも、新たな創造と変革のある緑水会が望まれていると思います。地域社会の次世代を担う、若手経営者の集まりである当会を、今後とも、より発展させるべく、微力ではありますが、貢献できるよう努力して参ると同時に、より幅広い会員とのコミュニケーション、そしてサポートに努めてゆきたいと思います。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

副幹事としての抱負

副幹事
田島宏明

今年度初めて副幹事を務めさせていただきます。副幹事という立場で具体的に何をすれば良いのか正直よくわかりませんが、嶋田代表幹事のもと、私にとって広い意味での「勉強」の場であり、そしてなにより「楽しい」場である緑水会を多くの方々に味わっていただける雰囲気を作っていければと思います。

近年、緑水会の平均年齢が急に下がってきたような気がしますが、若い方々に少々アドバイスを。委員会や例会その他事業の案内が山のように届き、困惑している方も多いと思います。私もそうでしたが、全然出たこともない委員会の事業に参加して良いものか尻込みしてしまう方もいるでしょう。時間の都合をつけてなんでも参加して体験してみましょう。参加してほしいから案内が来ているのですから。緑水会活動の基本は委員会活動であるのは確かですが、所属外の委員会事業に無関心では困ります。各委員会が主催する例会や事業、対外的活動、役員会等々、ひとつひとつの積み重ねで緑水会の活動がすすめられていることをご理解ください。

今年度は前橋市が大きな転換期を迎え、緑水会もその中で揉まれることになるでしょうが、一年間みんなで楽しく過ごしましょう。

監事に就任して

監事
宮田美恵

今年度監事の大役を仰せつかり、少々戸惑いながら、皆様の足手まといにならぬよう努力をしてまいる所存でございます。

少しでも会員や関係者の皆様のお役に立てるならと、お引き受けいたしましたが、甚だ不安な状況でございます。どうぞ、無事この大役が果たせますよう皆様の御力添えを心よりお願い申し上げます。

監事としての抱負

監事
安達一志

嶋田代表幹事から平成十六年度の監事という大役を仰せつかりました。お受けしたからには万難を排して頑張りたいと思います。

緑水会に入会させていただき十余年が経過致しましたが、いままでの役職とは違い、皆様のご意見をきちんとお伺いし、また、お役に立てることをお伝えしていく立場になってしまいました。過去の経験を活かし、新しい情報を取り込みながら情報の共有化を図りたいと思っています。そのためには役員会だけではなく委員会にも少しずつ出席させていただこうかと思っております。

この役職をお受けした以上「皆様の想像以上の働きをせねば」と力んでは見たものの、『監事講評』の厚い壁につぶされる自分を想像して憂鬱になりつつあります。

諸先輩のように理路整然とお話ができませんが、精一杯努力させていただきますので、この一年間ご協力お願い申し上げます。

最後に、楽しくなければ緑水会ではありません。大いに楽しみましょう。

総務広報委員長として

総務広報委員長
町田憲昭

昨年度に引き続き、嶋田代表幹事より総務広報委員長という大役を仰せつかりました。二年目ということですが、慢心することなく、昨年から引き続き「任された仕事はきっちりやる」、また、「全員参加型で、会員相互のコミュニケーションを大切にする」という自らの基本方針にもう一度立ち戻り、一年間しっかり務めたいと思います。

特に、新役員を中心にメンバー一人一人に、まず委員会における役割を認識してもらい、そして、緑水会に所属する意義、喜びをよりいっそう認識してもらえるように努力したいと思います。そして、委員一人一人が生き生きと輝き、緑水会全体へいい雰囲気を運んでいけたらと思います。

今年度の全国大会は北の大地、北海道帯広です。ぜひ多くのメンバーに参加してもらえるようにすばらしい企画をし、より多くの仲間と更なる研鑽に努めてこられれば存外の喜びです。

今年度もどうか皆様のご協力とご指導をよろしくお願いします。

会員交流委員長として
"初めてじゃないのにちょっと緊張"

会員交流委員長
小野昌人

このたび、会員交流委員長を受けさせて戴きました小野です。浅学非才の身ではありますが、当委員会活動に精一杯貢献したいと思っております。

さて、委員会活動についてですが「私たち自身が青年部の事業活動を通し経営者として成長する。その為に私達は貴重な時間を割き集まっているんだよ。」という会員共通の目的を皆が持ち活動していければと思います。青年部活動はお祭りや行政事業の手伝いという一見ボランティアのような事業があると思いますが、それらを企画、運営、そして結果を検証すること。それこそが自分の会社に帰り、日々迫られる決断の一瞬に必ず役立つと思います。

また、新入会員の皆さんがいち早く当会に溶け込んでいただき、充実した緑水会ライフを送れるよう、新入会員の皆様を大いに盛り上げていくことが、当委員会に課せられたミッション（使命）であると考えております。私自身もすばらしい仲間と共に精一杯努力し、精一杯楽しもうと思っております。

どうぞ、皆様のご協力をお願い申しあげます。

経営研究委員長として

経営研究委員長
三輪田聡

今年度、経営研究委員長を仰せつかり身の引締る思いと同時に、緑水会活動ならびに嶋田代表を精一杯サポートしていこうと感じております。

振り返ると緑水会に入会して6年が経過し、入会当初は自分自身先輩方々の活動に着いて行くだけで自己の意見をあまり主張しない消極的な面を反省しています。今年度は、観桜、講師、行政との懇談会という三つの例会を担当させていただくなかで嶋田代表より助言を頂きました「個性ある事業」をコンセプトに自分自身の意見も主張しながら委員の方々と調整して皆様方に楽しんでもらい率先して参加してもらえる事業をつくりあげたいと思っております。また、そのことが私の大きな自信につながり経営者としての礎になる事と信じております。

今年度経営研究委員会では、毎回の委員会を多くの方に参加してもらうのはもとより、内容が濃く、時間を短縮してスムーズな運営を心がけたいと思っております。また、嶋田代表より指摘のあった「大人の会なのだから、出欠席は出しましょう。」をしっかり守り、全委員に徹底を呼びかけたいと思います。

最後になりますが、私自身経営研究委員会の所属も初めてですし新任委員長で御迷惑やいたらぬ点があると思いますが、皆様方の御指導と御協力をお願いいたします。

地域開発委員長として

地域開発委員長
五十嵐経世

今年度の地域開発委員長を担当することになりました五十嵐です。卒業年度である今年度に責任ある役を任され、身が引き締まる思いです。

地域開発委員会に所属し三年目になりますが、青年部の委員会の中でも一番なんでもできる委員会でもあり、何をして良いかわからない委員会であるというのが実感です。そんな中で、一昨年・昨年と委員会活動を通じて感じたことは、どんなことでも人の心を動かすことができなければいい結果は得られない、ということです。その思いを次の世代の人たちに伝え、感じてもらうことが自身の役割と認識しています。

今年度の委員会では、「感じて…」をキーワードとして、五感を磨く活動を意識し、五年後十年後の街づくり・地域づくりにつなげたいと考えています。具体的には、将来ビジョンとして「心を育む街づくり・地域づくり」を目指し、年度目標として「人が育つ風土、環境とは何

か」を見つける、基本方針として①全員参加・一人一人が主役である②例会・委員会での一人一役③何事にも興味をもって首を突っ込む④五感をフルに使って「感じる」ことを意識する⑤自身で感じたことをみんなで話してみる　以上の活動を通じ本物・本質を見極める力を養っていきたいと考えます。

一年間よろしくお願いします。

事業推進委員長として

事業推進委員長
大島昭夫

本年度、事業推進委員長を仰せつかりました大島です。嶋田代表幹事より、委員長の指名をいただいた時には、こんな微力な私でいいのだろうかと戸惑いを感じましたが、自分の成長のため、そして、今まで以上に緑水会活動に貢献出来ればと思い、委員長を引き受けさせていただきました。

さて、本年十二月に広域市町村合併が行われます。新しい前橋のスタートに、事業推進委員会といたしましては、行政の協力をいただき、数多くの市民の方に参加していただけるような、イベントの調査や企画などを行っていきたいと思っております。その他に、海外視察研修に関しましては、去年サーズの影響により中止となっておりますので、今年はぜひ、行えるようにしたいと思っております。

委員長として、一年間頑張りたいと思っております。委員会メンバーの皆様には迷惑を懸けると思いますが、よろしくお願いいたします。

青年部に入会して一年未満の新入会員の方々に抱負や自社ＰＲをしていただきましたのでよろしくお願いします

「群馬ヤクルト販売株式会社」―〝健康快適応援企業〟

入会
平成16年3月2日
会員交流委員会
群馬ヤクルト販売㈱
小林宏親

ヤクルトに使われている乳酸菌「L、カゼイ・シロタ株」は一九三〇年、故代田稔博士によって培養・育成され、世界で初めて唯一生きたまま腸まで届き良い菌を増やし腸内環境を改善することが立証され、医薬品としても利用されている菌です。

当社は、「L、カゼイ・シロタ株」が４００億以上入っている主力商品ヤクルト４００を提供する事でお客様の健康管理に貢献しています。

又、全国一三六販売会社のトップグループに位置し、お客様満足度No.1をスローガンにより一層お客様の支持を得る事で、三年後には一〇〇億円企業を目指しております。

来年は創業五十周年を迎え、当社の二十一世紀ビジョン「健康快適応援企業」を実現する為、従事者全員が常にお客様の立場で物事を考え、お客様の生活になくてはならない最高の企業として選ばれるよう、日々努力をしてまいります。

「ソニー生命ＰＲ」

入会
平成16年4月1日
会員交流委員会
ソニー生命保険㈱
佐藤務

今年度から、緑水会に入会させて頂きまして、まだ日も浅く諸先輩の皆様にはお世話になるばかりですが、今後、緑水会の力となれる様努力してまいります。どうぞご指導宜しくお願い致します。

ソニー生命は、一九七九年にソニー・プルデンシャル生命として発足しました。〝人のやら無い事に挑戦し社会に貢献する。〟このソニースピリットと当時米国No.1の保険会社プルデンシャルのノウハウを融合し、日本の生命保険業界に新風を吹き込みました。

ライフプランナーのコンサルティングによるオーダーメイドの生命保険という革新的なシステムと質の高いサービスは、多くのお客様のご支持を頂き、営業開始以来現在まで順調に成長を続けています。ソニー生命はこれからも、革新の心と顧客第一主義の理念をもって前進してまいります。

「群央繊維工業㈱ＰＲ」

入会
平成16年3月2日
会員交流委員会
群央繊維工業㈱
新井義宗

昭和四十二年に創業しまして早、三十数年になりました。当社は、衣料品を縫製しております。アパレルメーカーから受注を受け賃加工で生産しております。又、オーダーユニフォームを、オリジナルの素材・型から提案し納得のいく商品を作ります。ロット、単価に応じては中国加工をしたり、クイック商品に対しては、国内の自社工場もしくは、外注工場で生産致します。

繊維製品は、身近にあふれています。下着、靴下、ゴルフバック、カーシート、当社のモットーとしては、縫う商品もしくは、繊維製品は、顧客のニーズで製品化する。刺繍、プリント、染め、バイオ加工、等も・・・

「自社ＰＲ」

入会
平成16年2月4日
会員交流委員会
㈲梅原印房
篠澤英樹

梅原印房は、大正八年創業という歴史を有し、印章の製造販売の専門店として実績を重ねてまいりました。「親切、丁寧」をモットーに、最高の技術と品質を誇りとしています。

印章は、契約、証明を「形」にする、非常に大切なものです。しかし、現在の印章業界においては、機械製造があたりまえとなる中、当社は優秀な職人による伝統的な手作業により心を込めて製造しております。

前橋店は開店十周年を迎え、印章以外にもゴム印の自社製造販売、印刷全般の製造販売、表札、名札等を取り扱っております。いずれの商品も伝統に培われた品質を保持し続けています。

是非、本物の印章を手に入れるさいには梅原印房をよろしくお願いいたします。

「自社ＰＲ」

入会
平成16年3月2日
会員交流委員会
リシカーレ
ビジネスファーム㈲
新井信行

当社は、生保（八社）損保（一社）投資信託・リースの代理店です。

具体的には、既存商品の見直し、顧客の財務の改善・強化、間接金融に頼らない為の内部留保の確保及び節税対策、４０１Ｋの導入等作成・提案をしております。又、企業の研修・勉強会も行っております。法人・個人を問わず、ニーズに合った商品を提供できるものと自負しております。

是非お気軽にご相談下さい。

「ただの豆腐屋では終わらない。」

入会
平成16年3月2日
会員交流委員会
相模屋食料㈱
鳥越淳司

『ただの豆腐屋では終わらない。』弊社相模屋食料㈱はそんな熱い思いを胸に常に前進を続けてまいりました。豆腐・揚げ物等大豆加工食品メーカーとしてその時代に合せ様々な変化を遂げてまいりました。

トレーサビリティをはじめとして食品に対するお客様の目が益々厳しくなる中、安全・安心とそしておいしさを追求した商品開発を積極的に推進しております。現在「おとうふ屋さんの生粋豆乳」は、昨今の豆乳ブームの中で成分無調整のまじりっけなしの豆乳としてお客様の絶大な支持をいただいております。

今後大豆に対するお客様の期待感を具現化するのが私どもの使命だと心に刻み、新鮮な驚きを常に生み出せる企業として前進を続けてまいります。

「自社ＰＲ」

入会
平成16年2月4日
会員交流委員会
㈱ジェイティービー
前橋支店
新井豪

私どもＪＴＢ前橋支店は、日々皆様のお出かけに関するお手伝いをさせていただいております。今回は前橋支店自慢のフットサルチームを紹介させていただきます。

運動不足解消を目指して男性若手社員を中心にチーム発足、チーム名は文京町に住んでいるスタッフが多いことから単純に『文京クラブ』となりました。現在はリーグ戦に所属して一～二週に一回試合をこなしておりますが、我々のフットサルに対するモチベーションは異常なまでに高く、平日仕事を定刻で切り上げて練習をしたり、仕事後に筋トレやマラソンをしたり、と当初の運動不足解消どころか実業団選手並みの生活をしているスタッフもいます。もちろんチームとしての成績も上々ですので、対戦ご希望の方は是非お声をお掛けください。宜しくお願い致します。

「自社ＰＲ」

入会
平成15年10月6日
会員交流委員会
富士工営㈱
池津崇延

はじめまして、弊社は住宅建築を主体に土木・造園・産業廃棄物収集運搬業を行っておる、富士工営株式会社ともうします。

弊社は、「安全で健康な住まい造り」をモットーに工事中から引渡し後まで安心してお住まいいただける住環境の提案に心がけております。

具体的には施工中においては、資材の一つ一つもお施主様の大切な財産と理解し大切に取り扱いさせて頂き、発生残材においても地域皆様、または未来の住環境の為に全て分別しリサイクル等の適正処理を行っております。あたりまえのことですが、このあたりまえを継続することこそ社会貢献と考えております。

「自社ＰＲ」

入会
平成16年4月7日
会員交流委員会
オリックス㈱
植坂純也

皆様はじめまして！オリックス株式会社の植坂純也です。

当社は一九六四年（今年四十周年を迎えました！）にリース産業の草分けとして設立されて以来、常に新しい金融サービスの提供を追求して参りました。その結果、現在ではリースにとどまらず、融資、レンタル、不動産、生命保険、損害保険、証券、信託銀行、プロ野球球団経営など多角的な事業展開を行っています。

私の所属する前橋支店では、地域密着型でお客様とともにかく密度の濃いコミュニケーションを行うことを第一義に、県内を五人の営業マンが走り回っています。最後に、商工会議所青年部の皆さんとは同年代ということもありますし、いろいろ刺激しあいながら仲良くおつきあいしていければと考えております。今後ともよろしくお願い致します！

「自社PR」

入会
平成16年4月7日
会員交流委員会
㈲積成工業
塩原　健

当社の業務は、一般住宅の建築施工、管理を主としております。
新築物件はもちろん、年月を経て、家族構成や暮らし方の変化に応じた増改築のニーズにも対応しております。一つとして同じものがないのが「家」づくりです。そこに住む人が末長く満足して快適に暮らせる住空間の実現を目標とし、またすべてのお客様から「安心」と「信頼」を得られる様、日々努力を重ねております。
緑水会の活動を通じ、自分自身の幅を広げ成長できればと思っております。何卒、御指導、御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

「自社PR」

入会
平成15年5月6日
会員交流委員会
利根電気工事㈱
阿久津　洋

昨年五月、緑水会に入会させて頂き、約一年会員交流委員会を通し、各事業活動に参加させて頂き今まで経験したことのない貴重な体験や、諸先輩の皆様とのインフォーマルなお付き合いをさせて頂き多少なり自分自身の幅が広がった感じがしております。
さて、弊社は、利根電気工事株式会社と申しまして、社名の通り電気工事業を営んでおり、主に建築に付帯する電気設備の設計施工、光ケーブルをはじめとする通信工事、道路照明工事、交通信号機工事等を柱に展開しております。
昨今、我々の業界内も環境が一つのキーワードとなっており、クリーンエネルギーである電気を通じて省エネルギー化、ランニングコストの低減等お客様のニーズに合わせたご提案をさせて頂いております。何かお役に立てることがありましたらご相談下さい。
今後とも宜しくご指導の程お願い致します。

「自社PR」

入会
平成15年5月6日
会員交流委員会
㈲おおとね花ショップ
倉林　健

我が社は上新田町で生花、鉢花、アートフラワー及び資材の小売業を営んでおります。クオリティーを第一主義に、常にお客様の立場で要望に応えられるような技術、信頼して頂けるサービスを心掛け、社員一丸となって商品づくりに取り組んでおります。
店内は季節の花など各種花を取り揃え、少しでも癒しの空間を提供できたらと考えております。
アレンジ、花束、生花スタンドや壇上花、花の事なら何でも御相談に応じますので宜しくお願い申し上げます。
お近くにいらした際には、お気軽におおとね花ショップにお立ち寄りください。

「自社PR」

入会
平成15年6月2日
会員交流委員会
㈱上信
宮下　博和

昨年6月より青年部の新会員に入会させていただく事になりました。
さて、弊社「㈱上信」は昭和十四年八月に前橋市にて創業を致しました。現在では、群馬県内を中心にスーパー様、ドラッグストア様、各小売店様、企業、病院売店様等にお菓子の卸売りをさせていただいております。お菓子を卸すだけではなく、美味しさ、楽しさ、夢とやすらぎを社会に提供し、お菓子文化を通じて社会に末永く貢献することを使命とし、各お得意様に対しての売り場提案、情報提供など、少しでもお役にたてるよう日々努力を重ねて、営業活動をしております。
今後は、青年部を通じて自分自身を成長させ、諸先輩方の下で、ご指導を受けながら、微力ではございますが頑張って参りますので、宜しくお願い致します。

「自社PR」

入会
平成16年2月4日
会員交流委員会
㈱レストランスワン
本多　秀彰

私の職場は紛れもなく青年部事務局があります前橋商工会議所です。
前橋中央郵便局の目の前にありますシャロンゴスペルチャーチ前橋を基点に結婚式をメインに営業しております。その他、宴会などの受注も行っております。
青年部事業の一環として会議所を利用するイベント（観桜例会、ローズ・クィーン、クリスマス会）などは職場が会議所だからこそご協力できることがたくさんあると思います。私の仕事が土日中心で委員会などの活動に参加できないことが多い分、ホームの利を生かし少しでもご協力できるようお手伝いさせていただきます。宜しくお願い致します。